



商店街への興味を引く
沢山の情報が詰まった
商店街マップ「銀座倶楽部」

取組

銀座倶楽部



情報発信



キャラクター

❖取組を開始したきっかけ

銀座通り商店街は、明治20年頃に誕生した非常に歴史の古い商店街である。大正から昭和初期に建てられた風情のある建物と、曲がりくねったアーケードが特徴だ。



現在、大規模小売店舗の影響や不景気等といった様々な事情で、老舗や集客力のある核店舗が減りつつある。そうした中、後述するまちづくり会社と商店街の尽力により、30代～40代の若い店主が経営する新しい商店が増えており、商店街の活性化に向けて新たな取組が始まっている。

平成25年12月、国の「にぎわい補助金」の活用により商店街マップ「銀座倶楽部」が完成した。マップの作成にあたり、商店街の案内人であるキャラクター「瀬戸銀三郎」を誕生させ、銀座通り商店街の新たな顔として一層のPRに役立てている。

同月行われたマップの完成披露宴では、マップの紹介はもちろん、銀三郎の誕生を祝って銀三郎本人のライブや撮影会が行われ、大いに盛り上がった。

取組の概要 >>>>

商店街マップ「銀座倶楽部」には、商店の紹介だけでなく、商店街の歴史や年中行事、おすすめの食べ歩きグルメ等、商店街への興味を引く沢山の情報が詰まっている。裏面には、銀三郎のプロフィールの他、瀬戸市制20周年を記念して昭和24年に作られた「瀬戸音頭」の歌詞も銀三郎の振り付け付きで掲載されている。更に、店主の性格や趣味、意外な一面を紹介するスペースもあり、商店街に親近感を抱かせる工夫がみられる。隅々まで読みたくなる、また商店街に足を運びたくなる、ユーモラスで非常に内容の濃いマップだ。

マップは20,000部印刷され、商店街以外に近隣の公共施設でも配布中である。



「瀬戸銀三郎」は、地元で活躍する人形作家がデザインした。大きさは30cmほどで、瀬戸らしく陶器製だ。着流し姿の粋なおじさんで、「銀さま」の愛称で親しまれている。「銀座倶楽部」の中でもあらゆる場所に登場し、様々なポーズをとりながら吹き出してコメントしている。

銀三郎のブログ「棒銀」は、銀三郎の「付き人」、「取り巻き」と称される若手店主たちが主に更新しているが、時には銀三郎本人が書き込むこともある。内容は、商店街のイベントの案内や商店の紹介から、銀三郎の日記のようなものまで多岐にわたり、見応えは抜群だ。写真も豊富で、銀三郎の細かな表情や仕草にこだわりを感じさせる。

なお、銀三郎は普段は人形の姿をしているが、「人のために何かしたい」という思いが強くなると人の姿に戻るという設定がある。人の姿でライブを行ったり、ブログを更新することで、実際に商店街の案内人として実在する人物であるかのように思わせる点でいわゆるゆるキャラとは一線を画した活躍を見せる。

そのインパクトのある見た目から新聞やテレビでも紹介され、当商店街の知名度アップに貢献している。

© ミラクル・プロダクション



❖取組の効果・課題

「銀座倶楽部」が配布されてから日が浅いため目に映る効果はまだ小さいものの、来街者からの評判は上々であり、銀三郎についても、マスコミに取り上げられて以降問い合わせは多い。商店街への取材も増えており、今後更なるPR効果が期待される。これから銀三郎をどのように活用していくか、現在店主たちで話し合っているとこ

ろだが、イベントに参加させるなどなるべく費用のかからない方法で展開していきたいと考えている。

また近年、当商店街内で活動するNPO法人「窯のひろば」との連携も強化しており、いくつかのイベントを協働で企画している。今後も若い店主やNPOの新しい発想を取り入れつつ、体験型・参加型の新しいイベントを実施する予定だ。

ほかにもこんな取組をしています

「瀬戸まちづくり株」の空き店舗対策事業

前述したように、当商店街に新しい店舗が増えている裏側には、まちづくり会社である「瀬戸まちづくり株」の活躍がある。

「瀬戸まちづくり株」は、商店街の活性化を含め地域経済の再構築を図ることを目的として、平成11年5月12日に設立された第三セクターである。瀬戸市の商店街の空き店舗対策事業やイベントの企画を行っているほか、直営店として銀座通り商店街で商店街ギャラリー「かわらばん家」、陶器と雑貨を扱うショップ「ギャラリーもゆ」を運営している。

現在は、当商店街の空き店舗事業は全面的に「瀬戸まちづくり株」が行っている。大家との交渉や契約は「瀬戸まちづくり株」が行い、「瀬戸まちづくり株」が入居希望者に物件を賃貸

するという、大家にとっても入居者にとっても安心な仕組みだ。改装費や家賃の交渉において、協力的な大家が多いのも、「瀬戸まちづくり株」と商店街の厚い信頼関係によるものと言える。

当商店街は、地元の住民だけでなく観光客も広くターゲットとしていることから若い入居希望者から人気がある。魅力的な商店を増やし日常的に賑わう商店街とするため、今後も「瀬戸まちづくり株」が果たしていく役割は重要である。



ギャラリーもゆ



ギャラリーかわらばん家

商店街DATA

銀座通り商店街振興組合

<http://www.seto-ginza.com/>

所在地 ● 瀬戸市朝日町36番地 アクセス ● 名鉄尾張瀬戸駅 徒歩5分 設立年月日 ● 昭和43年7月10日 組合員数 ● 51名
代表者 ● 河本 篤 TEL ● (0561)82-4207 メールアドレス ● info@ochahiko.co.jp